

第 6 次

# 基本計画

令和 4 年度 ～ 令和 6 年度



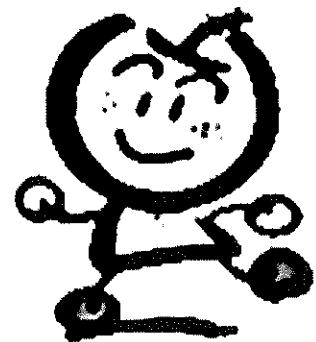
梨の花

令和 4 年 4 月

公益社団法人 白井市シルバー人材センター

# 目 次

はじめに	1
第1章 計画の作成にあたって	2
1. 計画策定の趣旨	
2. 基本理念	
3. 第6次基本計画の期間	
第2章 センターの現状と課題	
1. 会員の増強	3
2. 安全就業	5
3. 契約金額	6
4. 財務状況	7
第3章 目標と取組み	
1. 会員の増強 — 女性会員の拡大	8
2. 安全就業の推進	9
3. 就業機会の拡大	10
4. 営業、財務基盤の強化	11



## はじめに

白井市シルバー人材センターは、平成 11 年 4 月に社団法人として設立され、本年で 23 年目となります。

平成 24 年 4 月に現在の公益社団法人に移行し、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、地域社会の活性化に貢献してまいりました。

令和 2 年 4 月、新型コロナウイルス感染症により、千葉県に緊急事態宣言が発出され、さらに感染症の蔓延により令和 3 年 1 月と 8 月にも緊急事態宣言が出されました。コロナ渦にあつて当センターにおいては、公共事業・製造業・サービス業など関りのある事業所への会員就業にも大きな影響を受けており、極めて厳しい状況が続いております。

一方地域社会においては、特にサービス業等の人手不足分野及び介護・育児等現役世代を支える分野、また一般・高齢者家庭の除草・剪定作業等の分野においても、ますます会員の就業機会の拡大が期待されております。

当センターでは、このような地域の需要に応じて会員が活躍できるよう、役員一同努めてまいります。特に就業ニーズの多様化及び就業機会の拡大に対応するため、新規就業先の開拓など積極的かつスピード感をもって事業展開を図る所存です。

以上のことを踏まえ、第 5 次基本計画（令和元年度～令和 3 年度）の終了に伴い、新たな第 6 次基本計画策定にあつての基本方針を次のとおり定めることといたしました。

会員皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 1 会員の増強 — 女性会員の拡大
- 2 安全就業の推進
- 3 就業機会の拡大
- 4 営業・財務基盤の強化

令和 4 年 4 月

公益社団法人  
白井市シルバー人材センター  
理事長 川崎 誠

# 第1章 計画作成にあたって

## 1 計画策定の趣旨

白井市における高齢者世代を支援する中核組織として、当センターが果たす役割は社会情勢・地域経済情勢の変化に即応した事業展開と、公益社団法人として健全な発展が求められます。

白井市シルバー人材センターの「第5次基本計画」（令和元年度～3年度）が終了するにあたり、新たに期間3年の「第6次基本計画」を策定することで、今後のセンター事業運営方針を明確にします。

## 2 基本理念

当センターは、地域の高齢者が「自主・自立・協働・共助」の基本理念に基づき、長年培った知識、経験、能力を活かして就業することにより、豊で積極的な高齢者の生活・社会参加による生きがいを実感するとともに、地域社会の福祉と活力を生み出すことに貢献することを目的に、会員自らが自主的・主体的に組織運営に参画し、お互いが助け合い協力し合いながら活動する事業を展開致します。

当センターは、共通の理念に基づき、高齢者の安全な就業に配慮し、事業運営のあるべき姿や目標を明確化し、地域社会への貢献とシルバー人材センター会員の就労支援について、一層の推進を図ることとしました。

## 3 第6次基本計画の期間

第6次基本計画の期間は、令和4年度から令和6年度までの3年間とします。



## 第2章 センターの現状と課題

### 第5次基本計画（令和元年度から令和3年度）の実績と評価

#### 1. 会員の増強

◎ 令和3年度会員数目標500名（令和3年修正目標537名）

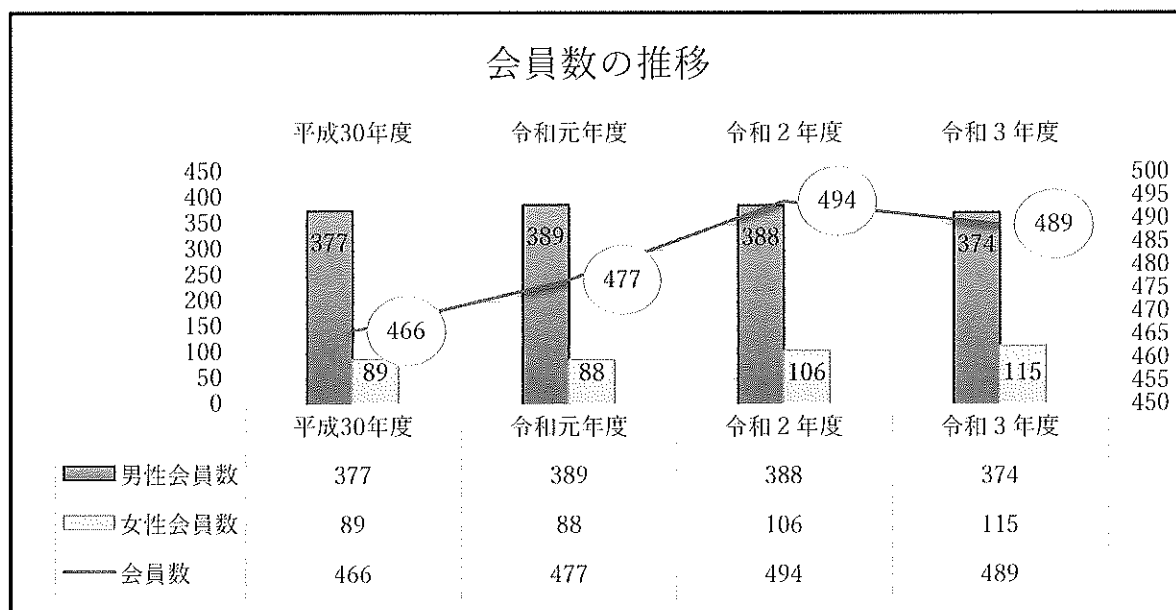
白井市の60歳以上人口は増加を続け、令和4年3月には約2万1千人となり総人口の33%を越えましたが、高齢者雇用安定法の改正により70歳までの雇用確保が令和3年4月から施行され、4人にひとり働く高齢者となり新入会員の高年齢化も進んでいます。

当センターの会員数は、ここ数年順調に推移しコロナ禍においても会員入会説明会を継続して開催しましたが、目標の500人を達成することはできませんでした。

会員数の推移

（会員数 単位：人）

年度	会員数 (人)	男性 会員	女性 会員	入会 者数	退会 者数	女性 比率	粗入 会率	平均 年齢
平成30年度	466	377	89	77	61	19.1%	2.3%	73.1
令和元年度	477	389	88	63	52	18.5%	2.3%	73.7
令和2年度	494	388	106	85	68	21.5%	2.4%	73.9
令和3年度	489	374	115	77	82	23.5%	2.3%	74.1



#### ・会員の平均年齢

当センターの会員は、白井市の60歳以上の高齢者人口 約2万1千人の2.3%

を占め、会員の平均年齢は男性 74.6 歳、女性 72.4 歳、全体では 74.1 歳となっています。

・会員入会説明会の新設

会員の入会については、毎月下旬に「募集説明会」を開催し、翌月上旬に「入会手続き」を実施していましたが、令和 3 年 11 月より募集説明会と入会手続きを一本化して「会員入会説明会」とし、新規入会会員の負担軽減と、シルバー人材センターの事務合理化を図り、入会までの迅速化を図ることといたしました。

・普及啓発活動の強化

白井市広報や地域情報紙に当センターが紹介され、市民のシルバー人材センターに対する知名度が向上し、特に女性会員の入会が増加し、女性会員の比率も平成 30 年度末の 19% から 23% を越えるまでになりました。

☆ 白井市広報紙「広報しろい」

令和 2 年 11 月 1 日号に、シルバー人材センターの特集記事が 3 頁にわたり掲載され、市民の認知度も高まり令和 2 年 12 月の入会会員は 22 名となりました。



☆ 朝日新聞地域情報紙「ほおじろ」

令和 2 年 9 月 15 日号で、当センター手工芸班が紹介されました。



☆ ちいき新聞

令 2 年 12 月 11 日号に、手工芸班と俳句同好会の活動が、私たちの「原動力」として紹介されました。



## 2. 安全就業

◎ 事故発生件数ゼロを目標に、安全パトロール・巡回指導を実施致しました。

会員の高齢化も進み、剪定作業・除草作業において傷害事故・賠償事故が発生しています。

いずれの事故も不注意や安全確認の不足によるもので、引き続き会員に対して事故防止の呼びかけを続け、安全就業対策を行なう必要があります。

コロナウイルス感染対策や熱中症対策を会員各自が行い、「自分自身の健康の維持」と「安全の確保は最優先」という意識を持ち会員の安全就業への取組みを支援してまいります。

事故発生件数

(単位：件)

区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
傷 害	就 業 中	軽作業	3		3	1
		清掃	3		1	
		植木剪定	1	2		2
		除草	2	1		1
		自転車整理				
		家事援助	1			1
		その他	1	1		
	就 業 途 上	徒歩				1
		自転車				1
小 計		11	4	4	7	
賠 償	植木剪定	1		2		
	除草	1	1	1	1	
	その他		1	1	1	
小 計		2	2	4	2	
合 計		13	6	8	9	



### 3. 契約金額

#### ◎ 令和3年度契約金額目標 2億円

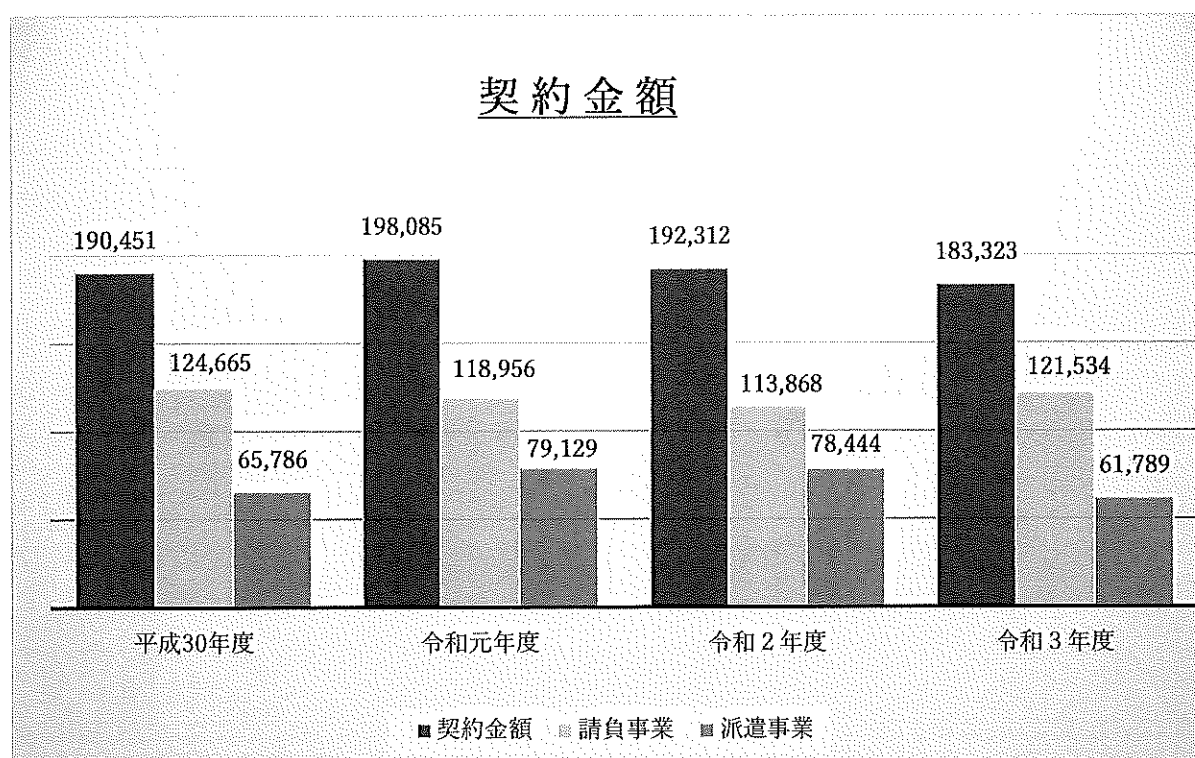
平成30年度以降、一般企業から受注している請負事業の派遣事業への切替えが進み、令和元年度・令和2年度は契約金額における派遣事業の比率が増加しました。

令和元年度については、契約金額の目標を達成することが出来ましたが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度は公共事業及び一般家庭からの請負事業に、令和3年度は一般企業からの請負事業に大きな影響を受け契約金額は目標金額を達することが出来ませんでした。

契約金額の推移

(単位：千円)

	区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目 標	目標金額	210,000	194,000	197,000	200,000
	請負事業	129,000	126,000	128,000	129,000
	派遣事業	71,000	68,000	69,000	71,000
実 績	契約金額	190,451	198,085	192,312	183,323
	請負事業	124,665	118,956	113,868	121,534
	派遣事業	65,786	79,129	78,444	61,789





#### 4. 財務状況

令和元年度は、契約金額の目標を達成し、派遣事務費収入の増加により収支差額は小幅ながら改善しました。

令和2年4月から請負事業における請負事務費の比率を、配分金の10%から11%に改定し、請負金額は減少しましたが請負事務費収入は減少せず、令和2年度の収支差額においてはほぼ均衡を保つことが出来ました。

令和3年度は、派遣事業において新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、工業団地内企業や地元企業で派遣人員の減少に伴い、派遣事務費収入が139万円減少し収支差額もほぼ同額の減少となりました。

##### ① 収 益

(単位:千円)

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
配分金	108,822	103,840	98,311	104,718
材料費	4,910	4,856	5,039	5,422
請負事務費	10,673	10,346	10,636	11,386
派遣事務費	5,928	7,152	6,449	5,056
会 費	1,198	1,248	1,218	1,259
補助金	21,760	23,760	24,003	23,760
指定管理料	5,569	5,691	5,751	5,813
その他	466	214	182	159
収益計	159,326	157,107	151,589	157,571

##### ② 費 用

(単位:千円)

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
配分金	109,082	104,061	98,153	104,704
材料費	3,782	3,795	3,872	4,181
人件費	31,311	31,610	34,136	33,734
その他	15,458	17,528	15,484	16,326
費用計	159,633	156,994	151,645	158,945

##### ③ 収支差額

(単位:千円)

科 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
当期収益計	159,326	157,107	151,589	157,571
当期費用計	159,633	156,994	151,645	158,945
収支差額	▲307	113	▲56	▲1,374

## 第3章 目標と取組

第6次基本計画（令和4年度～令和6年度）

最終年度（令和6年度）の目標

会員数 580人 内女性会員数 160人

契約金額 2億1千万円

安全就業の推進 事故ゼロを目指す

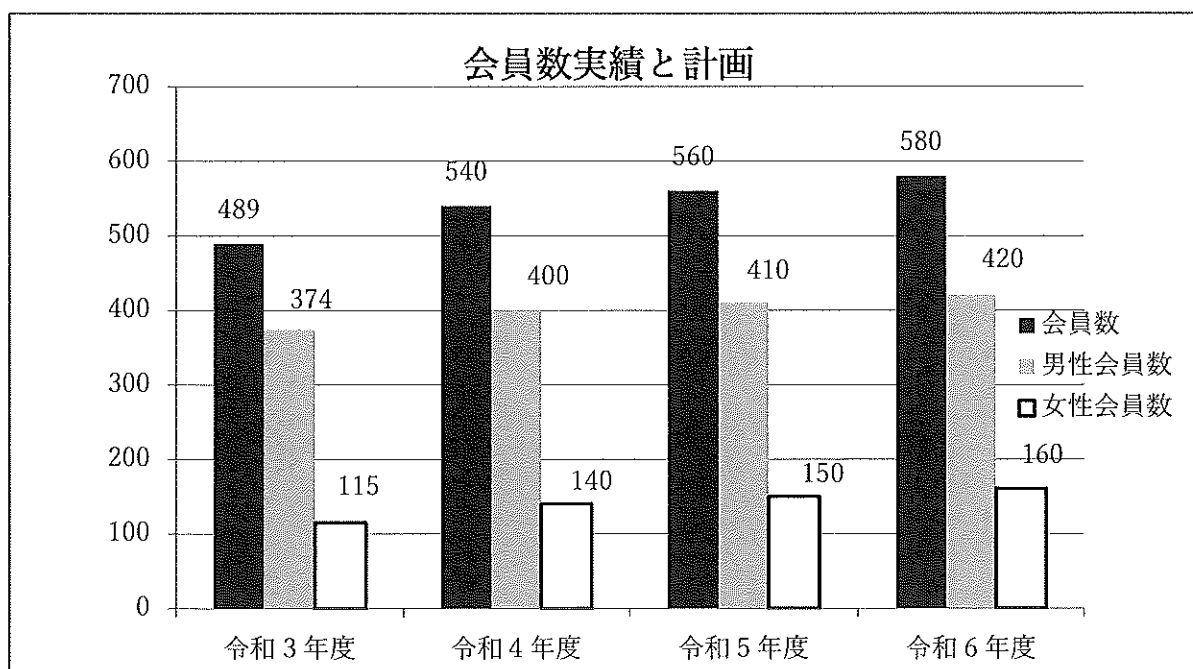
### 1 会員の増強 — 女性会員の拡大

白井市の60歳以上の人口比率は令和4年3月に33%を超え、生涯現役で活躍出来る社会を実現するため、60歳以上を入会資格とするシルバー人材センターの果たす役割は大きなものとなっています。

令和6年度末の会員数580人、女性会員160人を目標とします。

#### ◎ 会員数の目標

年度	会員数	男性	女性	女性比率	粗入会率
令和4年度	540人	400人	140人	25.9%	2.6%
令和5年度	560人	410人	150人	26.8%	2.7%
令和6年度	580人	420人	160人	27.6%	2.7%



実績値

目標値

### ① 会員の増強

令和3年11月から実施している会員入会説明会を、コロナウイルス感染対策を講じて、継続して実施します。

- 会員入会説明会の内容について検討を進める
  - ・会員入会説明会用ビデオの作成検討
  - ・入会時アンケートの内容を充実し、就業のマッチングを進める
- メディアの活用
  - ・市広報紙に毎月、会員入会説明会の募集記事を掲載
  - ・朝日新聞「ほおじろ」への情報掲載継続
  - ・市内各所に講習会参加者募集のチラシを掲出
- ホームページの刷新
  - ・NRI 社会情報システムなどホームページ作成支援会社のHP作成システムをベースに、当センターのホームページを刷新する
- 効果的なリーフレットの作成
  - ・現在のリーフレット、チラシの再検討
  - ・効果的な内容のリーフレットの企画
- 「ふるさとまつり」への参加、チラシ配布によるPRと知名度UPを図る
- 会員の紹介や、地域活動の中で「新入会員紹介制度」により友人の勧誘を進める

### ② 女性会員の入会促進

高齢化が進み女性の活躍が期待されています。

女性会員の増強に引き続き重点を置いて、女性ならではの経験や強みを発揮できる仕事、女性会員が働きやすい仕事の増強を図り、女性会員の比率を現在の23.5%から、27.6%を目標とします。

- 家事支援サービス業務の推進
- 介護施設での就業開拓
- 女性目線でのシルバー事業運営・企画
- 当センターで可能な独自事業の開拓

### ③ 退会防止の取り組み

入会された会員が早く仕事に就けるよう、新たな技能を習得する講習会を開催する。

- 各種講習会の実施
  - ・梨栽培技能講習会、植木剪定講習会、草苧機取扱い講習会等の継続開催
  - ・上記講習会の充実による新入会員確保
- 永年在籍会員（20年・10年）の表彰による会員意識の醸成
- 同好会・サークル活動の活性化による会員の退会防止
  - ・会員のシルバーライフ向上のための同好会・サークル活動の企画、運営
  - ・コロナウイルス感染症の終息を見据え休止中の同好会の再開準備を行う

健康と安全就業は会員にとって重要な事柄であり、センターにおいても健康・安全部会を中心に、引き続き安全就業の実践と、安全に対する意識の向上に取り組んでまいります。

会員の皆さんが、働くことで社会参加を実感し、自分の都合に合った働き方は健康増進につながります。

### ① ～事故ゼロをめざして～

#### ➤ 安全パトロールの実施

- ・ 剪定、除草作業、保育園駐車場整理作業等を中心に、安全パトロールを複数回実施し、安全意識の向上とルールの遵守による事故防止を図る
- 剪定・除草作業従事者を対象にした安全講習会の開催
- 事故発生時には当事者から事情を聞き取り、事故分析と再発防止に取り組む
- 安全安心な就業により、シルバーに対する安心感の醸成
- 就業途上、帰宅時の交通事故防止徹底
- 新規受注先の安全確認徹底

### ② 健康安全の周知徹底

シルバー会員の健康状態は、厚生労働省の調査で年齢が上がるほど一般高齢者との差が拡大しており、後期高齢者層のセンター会員が高い健康水準を維持していることが確認されています。

#### ➤ 熱中症対策

- ・ 熱中症警戒アラートを活用し、熱中症対策を進める
- ・ 職場においては互いの健康状態に注意する
- ・ 身体能力を自覚し、体調がすぐれないときは就業を控える
- 新型コロナウイルス感染症対策の実施
  - ・ マスク着用、こまめな手洗い消毒等、新しい生活様式の実践
  - ・ 新型コロナウイルスワクチンの、ブースター接種の呼びかけ
- 健康診断、ガン検診の受診推進

令和3・4年度 白井市シルバー人材センター安全標語

～ 安全は 仲間と自分を 守るもの ～



公共事業・民間企業・一般家庭からの安定的な受注に努めるとともに、会員にとっても魅力ある新たな就業先の開拓を進めてまいります。

### ① 就業開拓の推進

- 民間企業への就業拡大
  - ・新規就業先へのマッチング
  - ・現在の請負事業先へ増員を依頼
- 福祉・家事・子育て支援業務の拡大
  - ・介護施設での業務（介護補助業務）
  - ・福祉・家事支援サービス業務
- 剪定班・除草班の人員確保
  - ・2時間労働の検討
  - ・作業報酬単価の検討

### ② 公共事業の受注推進

当センターの白井市からの事業受注比率は約21%で、千葉県下センターの平均受注比率35%を大きく下回っている。

- 白井市役所新規業務の受注
  - ・介護予防・日常生活支援総合事業
  - ・白井市ふるさと納税「空き家見回りサービス」のPR  
令和3年より白井市ふるさと納税の返礼品となった「空き家見回りサービス」をホームページ等でPRする
  - ・空き家等管理業務  
白井市と締結済の「空き家等の適正な管理の推進に関する協定書」に関連する事業の検討

### ③ 就業情報の提供

- 「お仕事情報」を随時更新し会員に最新の情報をホームページ等で提供する。
- NRI システムを有効活用、未就業者を把握しマッチングの制度を上げる
- SNS による就業情報の発信など、積極的活用を図る



## 4 営業・財務基盤の強化

シルバー人材センター事業の安定的な運営に必要な財源は、請負業務の事務費、派遣業務の受託事務費、国・白井市からの補助金、白井市高齢者就労指導センター指定管理料からなっています。

請負事業・派遣事業の受注件数を増やし、請負事業・派遣事業を合わせた契約金額の達成を目標として、センターの事業運営に取り組んでまいります。

### ① 営業・財政基盤強化

#### ② 契約金額の目標 (単位：千円)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
請負・独自事業	120,000	122,000	124,000
派遣事業	80,000	83,000	86,000
契約金額合計	200,000	205,000	210,000
内公共	43,000	43,500	44,000
〃 民間企業	119,000	122,000	125,000
〃 一般家庭	38,000	39,500	41,000

### ② 財政基盤の確立

センターとして自主的な運営を進めるため、事業の拡大により契約金額を伸ばすことにより財政基盤の強化を図るとともに、事業運営の効率化に努めます。

- 家事援助など福祉的事業の拡大
- 業務システム エイジレス80による顧客管理
- リスク管理
  - ・業務システムによる、売上金の未収管理により長期未収金発生防止
  - ・会費の未収管理による未納会費の回収と退会防止
- 理事の事業・組織についての理解度向上
  - ・事業計画項目の積極的推進
  - ・近隣センターとの情報交換
  - ・事業の目的や意義、会員拡大の重要性について理事の意識改革を図る
- 事務局体制の強化・経費削減
  - ・職員の多能化、スキルアップ、マネジメント能力向上を図る
  - ・日常業務でのペーパーレス化推進
- 会費改定の検討
  - ・現在2,400円の年会費について金額改定を検討

### ③ 消費税のインボイス制度

令和5年10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度（適格請求書等保存方式）が導入されます。

➤ インボイス制度への対応

- ・適格請求書発行事業者登録制度の登録申請の実施
- ・インボイス制度導入に向けた情報の収集と対応策の検討

④ 指定管理事業

「白井市高齢者就労指導センター」の指定管理業務は、令和2年4月から令和7年3月までの指定を受けています。

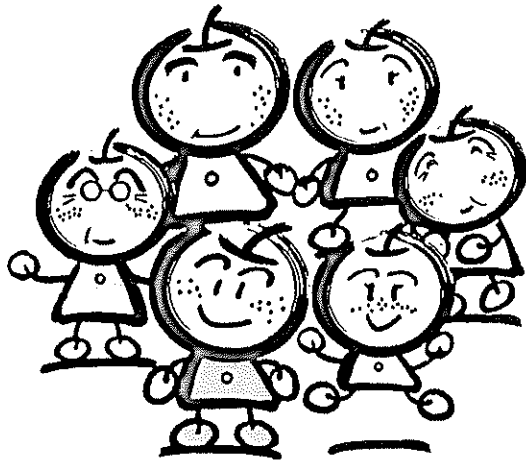
令和7年度以降についても引き続き受託の継続を目指します。

➤ 講習会の開催

受託業務の重要な事業であり、センターの知名度向上と、地域高齢者の活力向上につながる講習会を開催します

- ・地域高齢者に好評な、スマートフォンの使い方講習会などの開催回数を増やし高齢者の要望に対応する
- ・就業につながる植木選定講習会、草刈機取扱講習会など技能講習会の充実
- ・女性を対象とする講習会の検討
- ・初級パソコン講習会ほか講師を会員から募集する





白井市マスコットキャラクター  
なし坊ファミリー